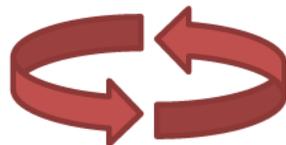


福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真の概要

- 復興・創生期間後も見据えた、中長期的かつ広域的な観点から浜通り地域等が目指す自立的・持続的な産業発展の姿と、その実現に向け国、県、市町村、関係機関が進める取組の方向性を示す、「福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真」を取りまとめ。

＜浜通り地域等の目指すべき姿＞ 自立的・持続的な産業発展

地元企業の
経営力・技術力向上
新たな事業展開



新たな企業・人材や
研究・実証の呼び込み
交流人口の拡大

3つの柱を軸に、先導的な地域となることを目指す

①「あらゆるチャレンジが可能な地域」

②「地域の企業が主役」

③「構想を支える人材育成」

4つの重点分野に、新たに医療関連と航空宇宙を追加

廃炉

ロボット
・ドローン

エネルギー・環境
・リサイクル

農林水産

+

医療関連

航空宇宙

(参考)「福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真」の検討経緯

<平成 30 年 8 月 9 日 原子力災害からの福島復興再生協議会>

- 【内堀福島知事】復興・創生期間後の財源・体制の確保についてであります。震災から 7 年が経過をしても難しい課題、現在進行形の厳しい状況があり、福島の復興は長い戦いとなります。復興・創生期間後も一つ一つの課題に危機意識を持ち、様々な施策にチャレンジを続けていくことが重要です。国においては、県・市町村とともに復興のビジョン・構想を描き、復興の道筋を示せるよう、必要な検討を進め、十分な財源及び体制の確保をお願いいたします。
- 【世耕経済産業大臣】知事や松本会長からも、この福島イノベーション・コースト構想を、持続的・自律的な福島の産業発展につなげていこう、深掘りをしてほしい、というお話でありました。これについては、中長期的で広域的な産業発展の青写真をしっかり描いていきたいと思います。
- 【内堀福島知事（終了後ぶら下がり）】平成 30 年度は復興・創生期間 5 年の折り返しのタイミングであり、復興・創生期間後の体制や財源についてしっかり議論してほしいということ、復興構想のビジョンを作してほしいと要望した。国としてもこうしたことを受けて実務的な議論が今後進んで行くと思う。その中で、本日、世耕経産大臣がご発言された福島の産業発展のため新たな青写真を描きたいとの発言があった。ビジョンの基軸は経済と産業であり、持続的な経済発展で被災地域が前に進んでいくために中長期的な構想を、大臣の構想の御発言を受けとめて我々も一緒になって議論、協議し進めていきたい。

<令和元年 8 月 5 日 与党東日本大震災復興加速化本部による第 8 次提言>

- 浜通り地域等の自立的・持続的な産業発展を実現するため、福島復興の大きな原動力となる「福島イノベーション・コースト構想」を基軸としつつ、国・県・市町村が一体となった中長期的な視点で広域的な地域再生や産業発展に向けた構想を強力に推進すること。

<復興・創生期間後の基本方針骨子>

- ④ 福島イノベーション・コースト構想を軸とした産業集積
(今後の課題)

今秋に策定予定の「福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真」の検討を踏まえた浜通り地域等の自立的・持続的な産業発展に向けた取組